

令和3年 消防統計

第43回防火防災ポスターコンクール

最優秀賞

【仙南地域広域行政事務組合理事長賞】



丸森町立耕野小学校 5年 一條悠稀さん

令和4年刊行

仙南地域広域行政事務組合消防本部

目 次

【火災統計】

火災統計の概要	1
1. 月別火災発生状況	2
2. 市町別火災発生状況	3
3. 時間別火災発生状況	4
4. 曜日別火災発生状況	5
5. 原因別火災発生状況及び損害額	6
6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移	7

【救急統計】

救急統計の概要	8
1. 月別救急活動状況	9
2. 市町別救急活動状況	10
3. 市町別医療機関収容状況（搬送人員）	11
4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況	12
5. 年齢区分別搬送状況	13
6. 傷病程度別搬送人員	14
7. 救急隊員の行った応急処置状況	15
8. 高速道路救急出動状況	16
9. 高速道路市町別出動状況	16
10. 応急手当講習会等の概要	17

【救助統計】

救助統計の概要	18
1. 月別救助出動・活動状況	19
2. 市町別救助出動・活動状況	20
3. 救出所要時間状況	21
4. 救助活動に使用した器具機材	21

【通信統計】

通信統計の概要	22
1. 総受信状況	23
2. 119番受付状況（災害種別）	23
3. 119番通報の固定電話と携帯電話別受付状況	24
4. 119番以外による災害受付状況	24
5. 消防テレホンサービス利用状況	24

火 災 統 計 の 概 要

1. 出 火 件 数

令和3年における出火件数は、78件で前年(70件) に比べて8件の増加となっている。
これを、月当たりの出火件数でみると平均 4.7 件となり、約 5 日に 1 件の割合で火災が発生したことになる。

この出火件数を火災種別ごとにみると、建物火災が 36 件と最も多く、全火災の 46.2%を占め、次いでその他の火災が 23 件 (29.5%)、車両火災が 14 件 (17.9%)、林野火災が 5 件 (6.4%) の順となっている。

また、月別にみると、4 月が 13 件と最も多く、次いで 2 月、3 月が各 12 件、12 月が 7 件の順となっている。

2. 焼 損 程 度

焼損棟数は 91 棟で、前年 (68 棟) に比べて 23 棟の増加となっており、1 件当たりの建物火災で約 2.5 棟が焼損したことになる。

また、建物火災における焼損面積は 10,337 m²で、前年 (4,282 m²) に比べて 6,055 m²の増加となり、1 件当たりの焼損面積は 287.1 m²となる。

林野火災における焼損面積は 42 a で、前年 (195 a) に比べて 153 a の減少となっている。

3. 死者及び負傷者

火災による死者は 7 人で、前年 (3 人) に比べて 4 人の増加となっている。

負傷者については 8 人で、前年 (6 人) に比べて 2 人の増加となっている。

4. り災世帯数及びり災人員

り災世帯数は、51 世帯で前年 (39 世帯) と比べて 12 世帯の増加となっている。

り災人員は 128 人で、1 世帯当たり 2.5 人がり災している状況となっている。

5. 損 害 額

損害額は 514,327 千円で、前年 (197,097 千円) に比べて 317,230 千円の増加となっている。

種別ごとにみると、建物の損害が 508,716 千円と全体の 98.9%を占め、車両の損害が 4,555 千円 (0.9%)、林野の損害が 673 千円 (0.13%)、その他の損害が 383 千円 (0.07%) の順となっている。

6. 出 火 原 因

出火原因別でみると、放火による火災が 8 件、たばこによる火災及び排気管・内燃機関による火災が各 7 件、次いで電灯電気・器具等配線による火災及びたき火による火災が各 6 件、電気機器・装置による火災が 5 件の順となっている。

1. 月別火災発生状況

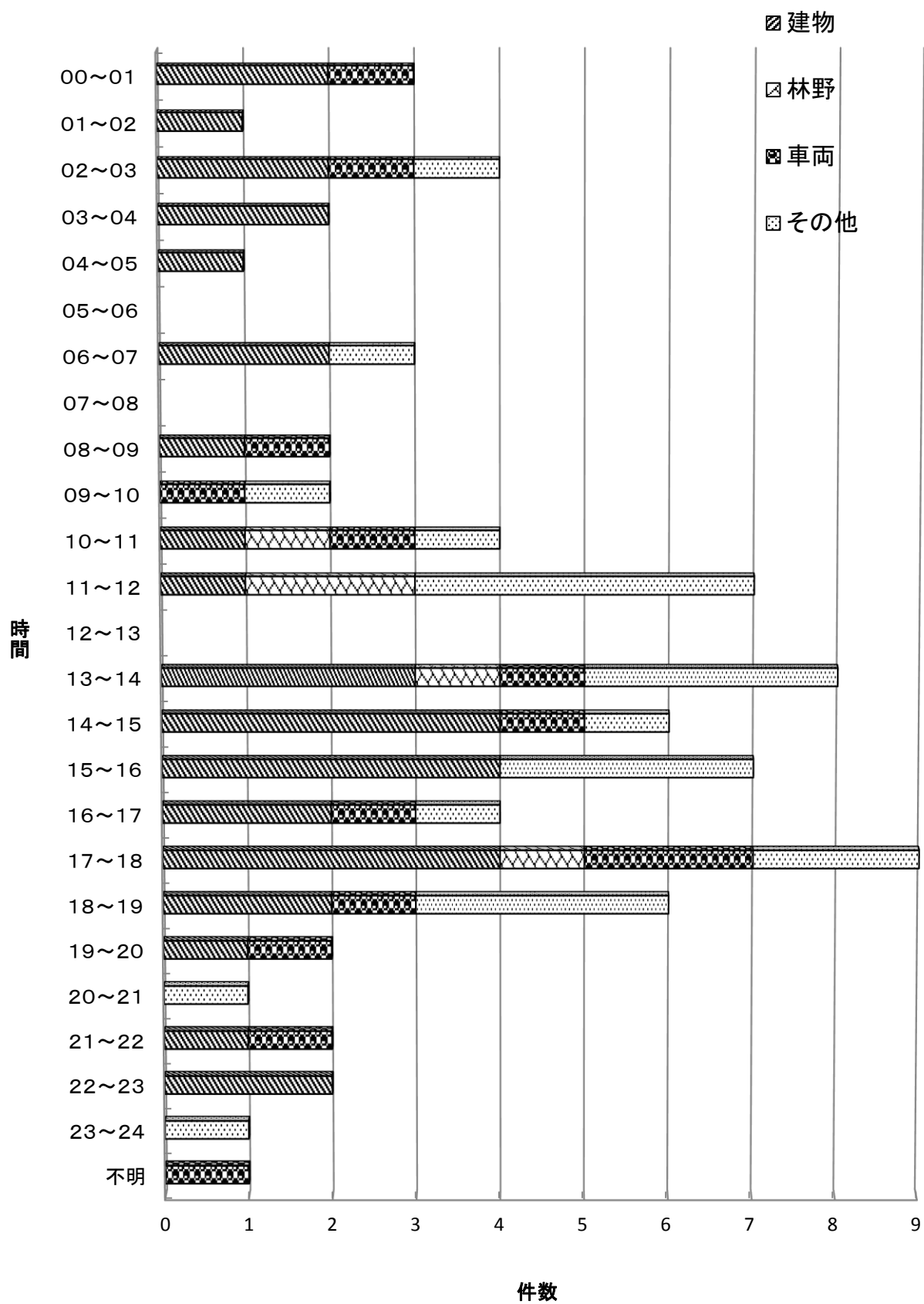
区分 月別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死者	負傷者	り災世帯数				り災人員	損害額（千円）							放水火災件数	放水台数		出動人員	
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 (㎡)	林野 (a)			計	全損	半損	小損		計	建物		林野	車両	その他	爆発		消防署	消防団		
																					建物	収容物									署員 団員
1月	6	5	1			9	4	1	4		341	5			4	1		3	17	16,530	13,007	3,302	198		23		3	6	4	75 151	
2月	12	6	2		4	17	6		8	3	658	6	1		9	3		6	22	69,295	25,469	43,096	389	341			10	23	13	200 353	
3月	12	6			6	8	4		3	1	613			5	7	1	1	5	11	32,873	32,061	777			35		9	16	8	139 174	
4月	13	3	2	4	4	22	15		4	3	1,646	28		2	10	6		4	28	110,410	87,908	21,301		1,179	22		9	33	16	236 391	
5月	3	1		1	1	1				1										1,519				1,519			2	2	1	51 62	
6月	6	2		2	2	5	4		1		246	1	3	1	2	2			2	7,217	6,067	268	30	585	267		5	13	3	89 155	
7月	4	2		1	1	2				2					2			2	12	202	34	16		116	36		2	3		25	
8月	3	2		1		3	2		1		491		1		1	1			1	23,658	15,111	8,477		70			3	8	3	65 105	
9月	1				1																										3
10月	5	2		2	1	6	3	1	1	1	278	2			2	2			5	15,816	14,655	900	56	205			3	7		56 79	
11月	6	3		1	2	10	4	1	4	1	556		1		9	6		3	16	50,556	41,759	8,667		130			5	12	2	95 111	
12月	7	4		2	1	8	4		3	1	5,508		1		5	2		3	14	186,251	177,630	8,211		410			6	15	3	133 126	
合計	78	36	5	14	23	91	46	3	29	13	10,337	42	7	8	51	24	1	26	128	514,327	413,701	95,015	673	4,555	383		57	138	53	1,167 1,707	
前年	70	36	6	10	18	68	33	3	20	12	4,282	195	3	6	39	12	10	17	78	197,097	129,331	34,945	159	6,605	26,057		52	129	42	1,181 1,807	

2. 市町別火災発生状況

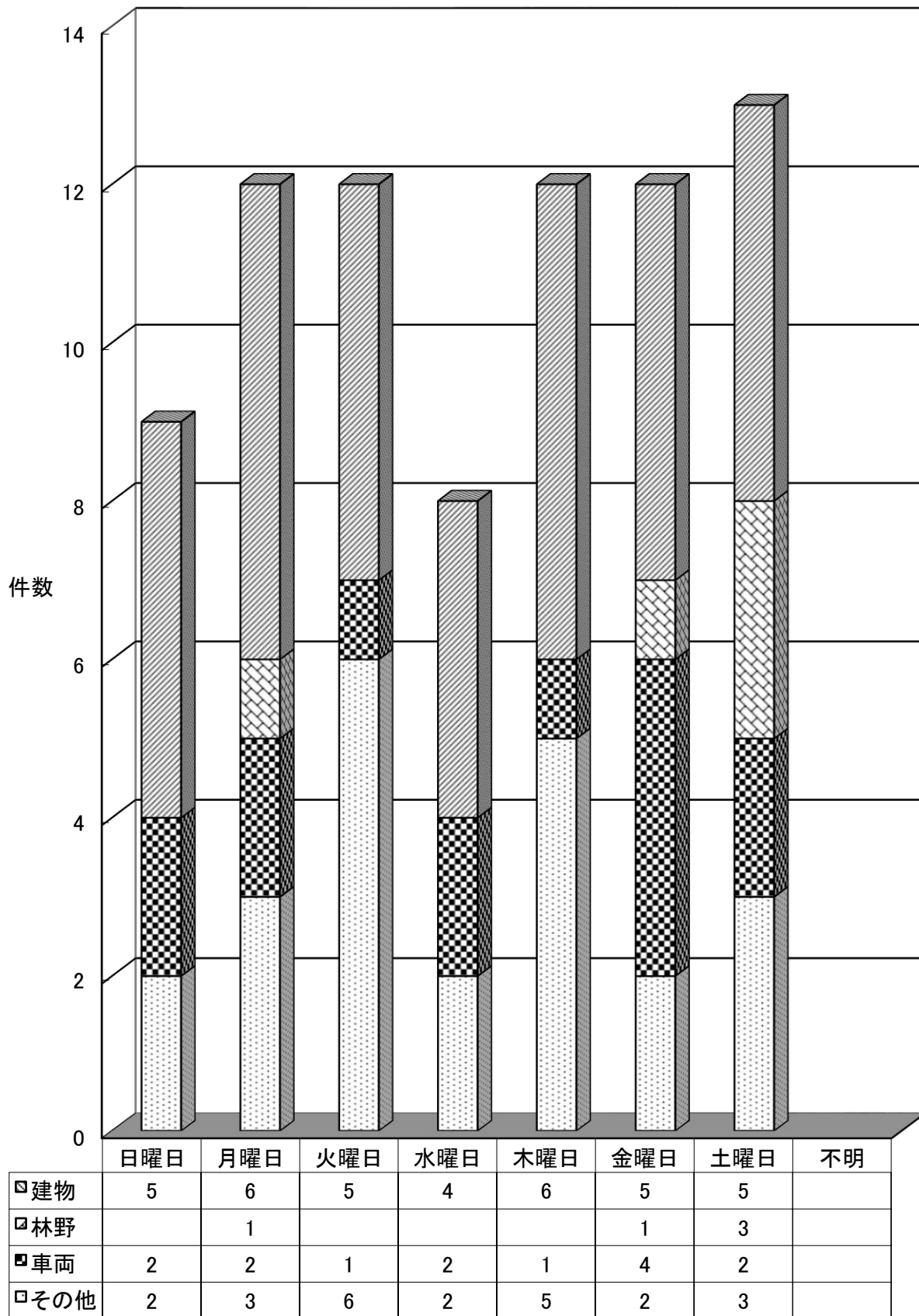
区分 市町別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死者	負傷者	り災世帯数				り災人員	損 害 額（千円）							出火率 （件）	
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	林野			計	全損	半損	小損		計	建物	建 物		林野	車両	その他		爆発
											(㎡)	(a)										収容物						
白石市	11	3			8	5	1		3	1	133	3	1		4	1		3	5	11,730	9,762	1,967			1		3.4	
角田市	13	5	2	3	3	16	6	1	5	4	713	10	1	1	8	4		4	33	42,401	22,263	17,581	362	2,138	57		4.7	
蔵王町	15	7		5	3	14	6	1	6	1	5,359	1	1	2	6	2		4	12	135,993	118,294	16,439	30	1,030	200		13.1	
七ヶ宿町	1	1				1				1										67		67					7.8	
大河原町	2		1		1							14															0.8	
村田町	11	7	2	2		32	20	1	8	3	2,760	14	1	1	22	12		10	48	262,314	212,720	49,016	281	240	57		10.6	
柴田町	11	5		2	4	7	3		2	2	112		1	2	4	1		3	10	14,719	13,108	1,398		212	1		3.0	
川崎町	9	4		2	3	8	2		5	1	316		1	1	3	1		2	14	16,706	8,290	7,601		815			10.7	
丸森町	5	4			1	8	8				944		1	1	4	3	1		6	30,397	29,264	946		120	67		4.0	
合計	78	36	5	14	23	91	46	3	29	13	10,337	42	7	8	51	24	1	26	128	514,327	413,701	95,015	673	4,555	383		4.7	
前年	70	36	6	10	18	68	33	3	20	12	4,282	195	3	6	30	12	1	17	78	197,097	129,331	34,945	159	6,605	26,057		4.1	

※出火率とは、人口1万人に対する火災発生件数(令和3年12月末の住民基本台帳より)

3. 時間別火災発生状況



4 曜日別火災発生状況

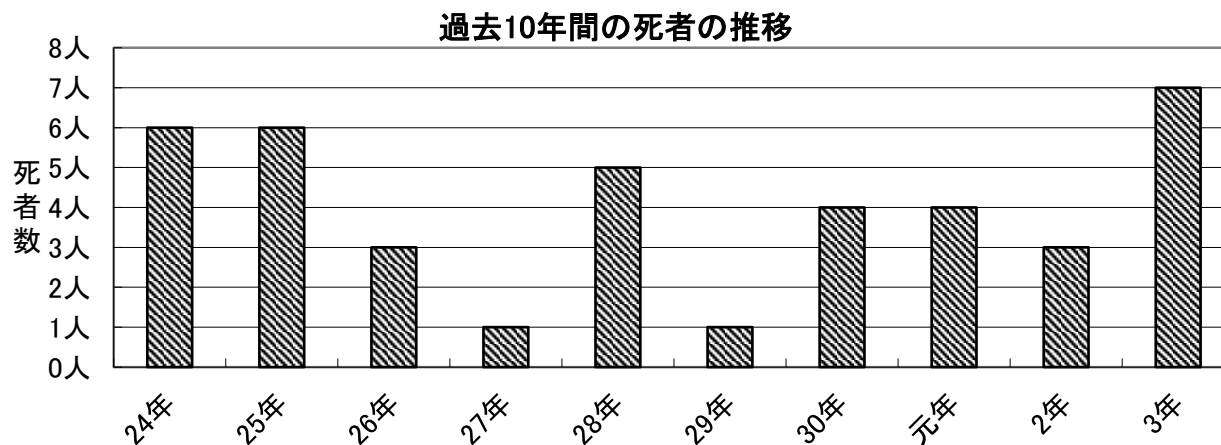
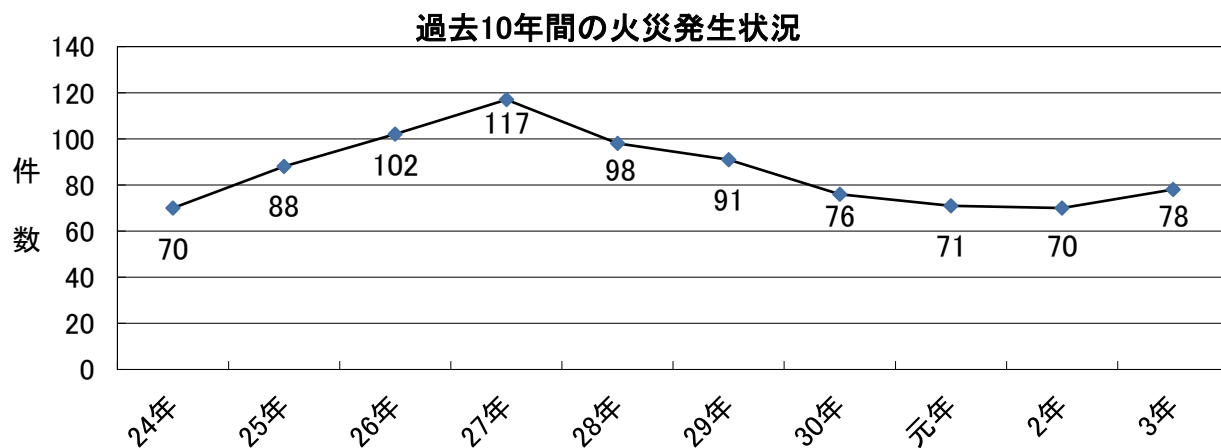


5. 原因別火災発生状況及び損害額

原 因	令和3年		令和2年	
	件 数	損害額(千円)	件 数	損害額(千円)
放 火	8	125,572	2	1,711
た ば こ	7	1,574	5	4,631
排気管・内燃機関	7	1,335	3	12,650
電灯電気・器具等 配 線	6	79,236	5	17,111
た き 火	6	9,526	7	4,033
電気機器・装置	5	24,187	5	219
ス ト ー ブ	3	52,354	3	20,684
放 火 の 疑 い	3	11	6	3
火 入 れ	3	0	1	0
煙 突 ・ 煙 道	2	26,479		
風 呂 ・ か ま ど	2	139	3	9,085
マッチ・ライター	2	6	2	6,948
取 灰	2	0	1	0
溶接機・切断機	1	173		
焼 却 炉 ・ 炉	1	0	1	1,477
衝 撃 火 花			1	355
火 あ そ び				
こ ん ろ				
こ た つ				
そ の 他	13	39,964	17	72,402
不 明	7	153,771	8	45,788
合 計	78	514,327	70	197,097

6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移

市町別	年別	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	合計
白石市	火災	15	17	25	24	20	12	21	17	13	11	175
	死者		1	1		1		3		1	1	8
角田市	火災	15	15	22	16	16	11	13	12	8	13	141
	死者	3							2		1	6
蔵王町	火災	5	10	11	30	13	11	7	6	8	15	116
	死者		2								1	3
七ヶ宿町	火災		4	1	1	1	3	1	1	2	1	15
	死者											
大河原町	火災	6	4	4	6	5	7	3	4	6	2	47
	死者				1			1	1			3
村田町	火災	6	5	13	12	16	15	8	6	11	11	103
	死者			2		3				1	1	7
柴田町	火災	13	12	8	10	9	10	9	8	10	11	100
	死者	2								1	1	4
川崎町	火災	4	9	11	14	11	13	7	8	3	9	89
	死者	1	1								1	3
丸森町	火災	6	12	7	4	7	9	7	9	9	5	75
	死者		2			1	1		1		1	6
合計	火災	70	88	102	117	98	91	76	71	70	78	861
	死者	6	6	3	1	5	1	4	4	3	7	40



救 急 統 計 の 概 要

1. 出動件数と搬送人員

令和3年の救急出動件数は、7,543件で前年(7,244件)に比べて299件(4.1%)の増加となり、搬送人員については、6,567人で前年(6,351人)に比べ216人(3.4%)の増加となっている。

事故種別の出動件数は、急病が4,815件と最も多く全体の63.8%を占め、次いで転院搬送の1,033件(13.7%)、一般負傷924件(12.2%)、交通事故447件(5.9%)の順となっている。

2. 市町別出動件数及び搬送人員

市町別の出動件数及び搬送人員では、白石市が最も多く1,671件の出動で1,487人を搬送しており、次いで柴田町1,423件(1,194人)、角田市1,150件(1,015人)、大河原町1,002件(871人)の順となっている。

3. 覚知からの現場到着時間及び収容時間

覚知から現場到着までの所要時間をみると、10分～19分が3,395件と最も多く全体の45%を占め、次いで5分～9分3,265件(43.3%)、20分以上660件(8.7%)の順となっており、現場到着までの平均時間は11.4分で前年(11分)と比較し0.4分遅延している。

覚知から収容までの所要時間をみると、30分～59分が4,582件と全体の69.8%を占め、次いで60分～119分1,238件(18.9%)、20分～29分661件(10.1%)の順となっており、収容までの平均時間は47.3分で前年(45分)と比較し2.3分遅延している。

4. 救急隊員の応急処置状況等

救急隊員が応急処置を行った傷病者数は6,567人であり、応急処置総件数は26,590件で、傷病者1人に対し4種類以上の応急処置を行ったことになる。

その内容は、血中酸素飽和度測定6,363件、血圧測定6,259件、その他(体温測定等)5,934件の順となっており、心肺蘇生法を実施した件数は201件であった。

心肺機能停止だった傷病者のうち、医師引継ぎ時に心拍が再開し入院となった人が12人(前年15人)、1ヶ月後生存3人(前年5人)、社会復帰者は2人(前年5人)となっている。

また、救急救命士が医師の指示に基づき実施した救急救命処置の延べ数は280件となっている。

5. 高速自動車道における出動件数及び搬送人員

出動件数は55件で、東北自動車道38件、山形自動車道17件となっている。また、搬送人員は39人で、軽症21人、中等症15人、重症3人となっている。

1. 月別救急活動状況

月別	事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			一日平均
	区分	合計											転院搬送	医師搬送	その他	
1	出動件数	580	4			33	11		71		4	358	98		1	18.7
	搬送人員	496				25	11		63		3	297	97			16.0
2	出動件数	569	7			34	19	2	74	2	9	346	74	1	1	20.3
	搬送人員	473				27	15	1	61	2	4	289	74			16.9
3	出動件数	590	6			33	3	1	74	1	4	390	76		2	19.0
	搬送人員	515	4			29	3	1	62		3	337	76			16.6
4	出動件数	587	6			38	6	1	63	1	7	370	95			19.6
	搬送人員	510	1			32	6		49	1	7	320	94			17.0
5	出動件数	619			2	26	3	5	77	4	6	417	78		1	20.0
	搬送人員	536				21	3	5	67	2	3	357	78			17.3
6	出動件数	623	6		1	36	7	5	76	2	11	378	99		2	20.8
	搬送人員	525	2			26	6	5	58		5	324	99			17.5
7	出動件数	706				44	14	10	89	1	6	459	81	1	1	22.8
	搬送人員	622				37	12	9	80	1	3	399	80		1	20.1
8	出動件数	689	3		1	33	9	6	86		12	458	81			22.2
	搬送人員	605			2	25	8	6	76		7	402	79			19.5
9	出動件数	619				38	7		70	1	7	411	84		1	20.6
	搬送人員	549				35	7		61	1	6	354	84		1	18.3
10	出動件数	626	3		1	49	7	7	76	3	8	389	79		4	20.2
	搬送人員	560				44	7	7	69	2	3	349	79			18.1
11	出動件数	635	4			46	11	4	81	4	9	377	97	1	1	21.2
	搬送人員	572				42	9	4	76	3	7	335	96			19.1
12	出動件数	700	5	1		37	7	3	87		7	462	91			22.6
	搬送人員	604		1		30	6	3	71		4	399	90			19.5
合計	出動件数	7,543	44	1	5	447	104	44	924	19	90	4,815	1,033	3	14	20.6
	搬送人員	6,567	7	1	2	373	93	41	793	12	55	4,162	1,026		2	17.9
前年	出動件数	7,244	43		8	433	64	43	927	21	75	4,616	994	1	19	19.8
	搬送人員	6,351	5			374	63	43	820	17	55	3,983	991			17.4

2. 市町別救急活動状況

市町別 区分		白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	管轄外	合計	前年
事故種別 救急出動件数	火災	3	5	9	1	1	8	6	4	4	3	44	43
	自然災害	1										1	
	水難			2	1				1	1		5	8
	交通事故	71	51	42	7	66	69	82	34	19	6	447	433
	労働災害	19	17	13	2	12	8	11	13	9		104	64
	運動競技	7	9	12		2	3	9	1	1		44	43
	一般負傷	191	150	96	7	119	56	177	56	72		924	927
	加害	7	3			1		7		1		19	21
	自損行為	18	12	4	1	15	6	23	4	7		90	75
	急病	1,039	748	429	71	536	333	1028	210	419	2	4,815	4,616
	その他の	転院搬送	313	154	58	11	243	19	78	87	70	1,033	994
		医師搬送	1	1	1							3	1
		その他	1			3	7	2	1			14	19
	計	1,671	1,150	666	104	1,002	502	1,423	411	603	11	7,543	7,244
事故種別 搬送人員	火災			1			1	3	1	1		7	5
	自然災害	1										1	
	水難									2		2	
	交通事故	55	43	36	6	57	63	69	22	17	5	373	374
	労働災害	17	16	11	2	12	7	11	11	6		93	63
	運動競技	6	8	12		2	3	8	1	1		41	43
	一般負傷	168	132	84	7	94	48	147	47	66		793	820
	加害	6	1			1		4				12	17
	自損行為	11	9	2	1	11	4	11	3	3		55	55
	急病	911	652	375	66	453	293	863	175	372	2	4,162	3,983
	その他	312	154	58	12	241	18	78	86	69		1,028	991
	計	1,487	1,015	579	94	871	437	1,194	346	537	7	6,567	6,351

3. 市町別医療機関収容状況(搬送人員)

発生市町別	収容先市町別 搬送人員	発生市町内 院等収容率	市町別収容医療機関																		広域圏外 収容率
			白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	仙台市	名取市	岩沼市	多賀城市	塩竈市	県北	亘理郡	福島県	山形県	
白石市	1,487	36.7%	545	2			785	1			1	86	13	17					37		10.3%
角田市	1,015	16.2%	31	164			688		5		5	51	9	55			1	6			12.0%
蔵王町	579	3.6%	191		21		313			2		31	4	14					3		9.0%
七ヶ宿町	94	1.1%	27			1	44					4		1					3	14	23.4%
大河原町	871	65.4%	69	12	2		570		10	7	4	157	9	23				3	4	1	22.6%
村田町	437	0.2%	36		1		336	1	2	5		42	3	10			1				12.8%
柴田町	1,194	3.1%	72	1			837		37	1		78	23	143	1			1			20.6%
川崎町	346	28.0%	8				164			97		68	3	1						5	22.3%
丸森町	537	21.8%	16	22			304		1		117	27	5	10			2	10	23		14.3%
管轄外	7											4							2	1	100.0%
計	6,567		995	201	24	1	4,041	2	55	112	127	548	69	274	1		4	20	72	21	
搬送率		84.6%	15.2%	3.1%	0.37%	0.02%	61.5%	0.03%	0.8%	1.7%	1.9%	8.3%	1.1%	4.2%	0%		0.06%	0.30%	1.1%	0.32%	15.4%

4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況

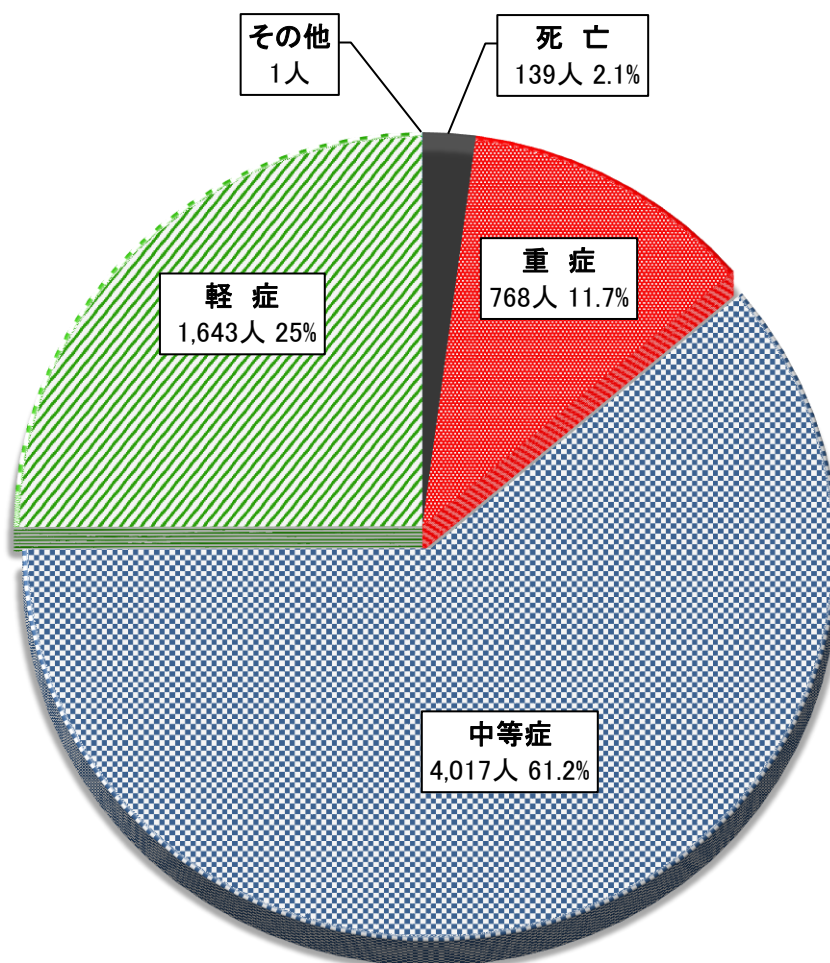
種別 市町別	覚 知 か ら 現 場 到 着							覚 知 か ら 収 容 時 間 (搬 送 人 員)							
	3 分 未 満	3～4 分	5～9 分	10～19 分	20 分 以 上	計	平均 時 分	10 分 未 満	10～19 分	20～29 分	30～59 分	60～119 分	120 分 以 上	計	平均 時 分
白 石 市	8	52	956	501	154	1,671	10.5		25	237	1,018	204	3	1,487	43.2
角 田 市	6	61	463	540	80	1,150	11.0		8	64	762	175	6	1,015	47.6
蔵 王 町	5	6	139	432	84	666	13.6			44	421	110	4	579	48.5
七ヶ宿町		4	44	39	17	104	13.2			2	25	63	4	94	70.4
大河原町	7	12	456	496	31	1,002	10.3		11	124	613	121	2	871	43.2
村 田 町	1	5	212	255	29	502	11.3			49	324	63	1	437	44.6
柴 田 町	4	16	658	685	60	1,423	10.7		2	78	930	178	6	1,194	46.7
川 崎 町	1	6	173	176	55	411	12.5		1	37	225	82	1	346	50.7
丸 森 町	8	21	164	269	141	603	14.8	1		26	262	237	11	537	60.9
管 外				2	9	11	27.7				2	5		7	62.1
計	40	183	3,265	3,395	660	7,543	11.4	1	47	661	4,582	1,238	38	6,567	47.3

5. 年齢区分別搬送状況

種別 年齢	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 ・ そ の 他	合 計
新生児										4	6	10
乳幼児				4			36			95	14	149
7～17			2	26		22	20		6	77	10	163
18～24				43	7	10	16		4	112	11	203
25～34				42	8	1	11		9	135	24	230
35～44	1			45	17	3	18	3	15	185	37	324
45～54	1			61	14	1	33	3	10	271	57	451
55～64	1	1		48	23	1	51	1	8	337	115	586
65～74	1			47	19	2	144	1	1	724	183	1,122
75歳以上	3			57	5	1	464	4	2	2,222	571	3,329
合計	7	1	2	373	93	41	793	12	55	4,162	1,028	6,567
前年	5			374	63	43	820	17	55	3,983	991	6,351

6. 傷病程度別搬送人員

	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
死 亡			1	16	121	138
重 症	2	1	6	171	588	768
中等症	7	71	74	974	2,891	4,017
軽 症	1	77	82	633	850	1,643
その他					1	1
合 計	10	149	163	1,794	4,451	6,567



7. 救急隊員の行った応急処置状況

事故種別 応急処置種別	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計	前 年
応 急 処 置 対 象 人 員	4,162	373	793	1,239	6,567	6,342
止 血	27	36	100	34	197	192
固 定	23	131	113	40	307	330
人 工 呼 吸	13			2	15	15
胸 骨 圧 迫						
心 肺 蘇 生	170	6	14	11	201	169
うち自動心臓マッサージ	(98)	(3)	(7)	(7)	(115)	(96)
酸 素 吸 入	798	17	41	313	1,169	1,208
気 道 確 保	97	2	6	5	110	211
うち経鼻エアウェイ						(1)
うち異物除去	(1)		(2)		(3)	(2)
うち食道閉鎖式	(69)		(1)	(4)	(74)	(50)
うち気管挿管	(3)		(3)		(6)	
保 温	371	22	62	103	558	572
被 覆	19	59	153	51	282	269
在 宅 療 法 継 続	21		1		22	41
除 細 動	17	1	1		19	16
静脈路確保(CPA前)	70	4	4	4	82	100
静脈路確保(CPA後)	57	1	4	3	65	54
薬 剤 投 与 (アドレナリン)	29	1	4	1	35	31
薬 剤 投 与 (エピペン)						
薬 剤 投 与 (ブドウ糖溶液)	18				18	17
血 圧 測 定	3,929	366	757	1,207	6,259	6,087
心音呼吸音の聴取	627	68	72	101	868	1,132
血中酸素飽和度測定	3,998	366	771	1,228	6,363	6,170
血 糖 測 定	100		6	5	111	135
心電計による観察	2,911	104	243	717	3,975	3,869
うち心電図伝送	(256)		(2)	(76)	(334)	(344)
そ の 他	3,786	346	714	1,088	5,934	95
合 計	17,081	1,530	3,066	4,913	26,590	
前 年	13,286	1,216	2,495	3,713		20,710

※網掛け部分については、救急救命士が行うことが出来る救急救命処置

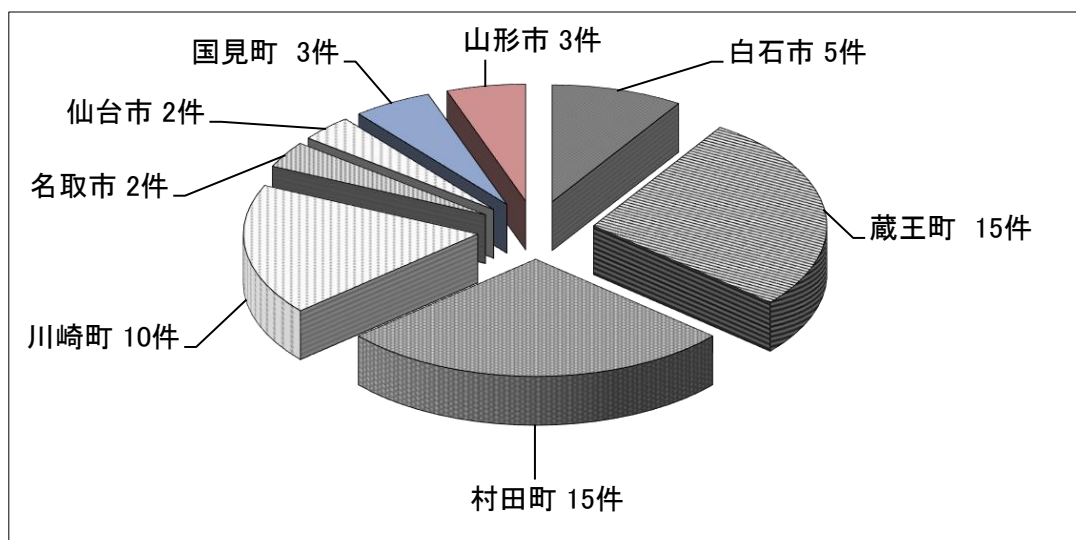
※()内は内訳

8. 高速道路救急出動状況

種別 月別	出 動 件 数							搬 送 人 員							傷病程度					性別	
	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	そ の 他	計	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	男	女
1		3		1			4		2		1			3		1		2		1	2
2	1	3		1			5		3					3			2	1		3	
3																					
4	1	2		1			4		1					1			1			1	
5				1			1				1			1				1		1	
6	2	3		1			6		1					1			1			1	
7		3		2			5		3		1			4			2	2		2	2
8	1	2		1			4		1					1			1			1	
9		4		3			7		3		2			5			1	4		4	1
10		3		3			6		3		3			6			2	4		4	2
11		7		4			11		11		2			13		1	5	7		11	2
12	1			1			2				1			1		1				1	
計	6	30		19			55		28		11			39		3	15	21		30	9
前年	1	21		14		3	39		22		12		3	37		3	23	11		24	13

9. 高速道路市町別出動状況

東北自動車道 38 件
山形自動車道 17 件



10. 応急手当講習会等の概要

令和2年における応急手当普及啓発活動状況は、普通救命講習会・上級救命講習会・
応急手当講習会等を実施し、延べ1, 204名が受講しました。

講 習 種 別	受講者数	講習回数	内 容
普通救命講習会 (3時間講習)	636名	60回	心肺蘇生法(主に成人対象)、AEDの使い方、異物除去法、大出血時の止血法等、救命手当について学びます。
上級救命講習会 (8時間講習)	53名	7回	普通救命講習の内容に加えて、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法等を学びます。
救命入門コース (1.5時間講習)	106名	5回	小学校高学年から中学生の方、これから普通救命講習を受講される方等を対象とした、胸骨圧迫やAEDの使い方を中心に学ぶコースです。
応急手当普及員講習会 (3日間講習)	名	回	学校や事業所等で応急手当を普及していただける方を養成するための講習です。講習修了者には普及員認定証が交付されます。(隔年実施)
応急手当普及員再講習会 (3時間講習)	48名	5回	前回の応急手当普及員講習受講日から3年以内に再度受講する方のための講習です。
応急手当講習会 (3時間未満講習)	719名	59回	救急講話や外傷の処置など、時間や内容について受講者の希望に沿った形で開催します。
合 計	1, 204名	91回	

救 助 統 計 の 概 要

1. 出動件数・活動件数・救助人員

令和3年の救助出動件数は、91件で前年(94件)に比べて3件の減少となり、救助活動を行った件数は、45件で前年(50件)に比べて5件の減少となっている。

また、救助人員は49人で、前年(54人)に比べて5人の減少となっている。

事故種別ごとにみると、交通事故48件（活動26件・救助人員30人）で最も多く、次いでその他の事故21件（活動12件・救助人員12人）、建物等による事故14件（活動5件・救助人員5人）、水難事故5件（活動1件・救助人員1人）、機械等による事故2件（活動1件・救助人員1人）、ガス及び酸欠事故1件となっている。

2. 救出所要時間

現場に到着してから救出にかかった所要時間をみると、10分未満が27件で最も多く、次いで10～19分が7件、20～29分が4件、30～59分が5件、120分以上が2件の順となっている。

1. 月別救助出動 ・ 活動状況

区分 月別	事故種別出動 ・ 活動件数 ()内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風水害等	よ機械等 る事故に	よ建物等 る事故に	酸ガス 欠事及び	爆発事故	その他の 事故	計	火災	交通事故	水難事故	風水害等	よ機械等 る事故に	よ建物等 る事故に	酸ガス 欠事及び	爆発事故	その他の 事故	計
1		(2) 6				(1) 2				(3) 8		2			1					3
2		(4) 7								(4) 7		4								4
3		1				2			(1) 1	(1) 4									1	1
4		(5) 5							(2) 3	(7) 8		5							2	7
5			(1) 1				1		(1) 2	(2) 4			1						1	2
6		(1) 1	1			1			(1) 3	(2) 6		1							1	2
7		(4) 6				1			(3) 3	(7) 10		4							3	7
8		(2) 4				(1) 3			(1) 1	(4) 8		2			1				1	4
9		3	1			(1) 1			(1) 2	(2) 7					1				1	2
10		(4) 6	2			(2) 3				(6) 12		7			2					9
11		(2) 4			(1) 2				(1) 4	(4) 10		3							1	5
12		(2) 5				1			(1) 1	(3) 7		2							1	3
合計		(26) 48	(1) 5		(1) 2	(5) 14	1		(12) 21	(45) 91		30	1		5				12	49
前年		(25) 46	(6) 7		(2) 4	(11) 22	1		(6) 14	(50) 94		28	7		2	11			6	54

2. 市町別救助出動 ・ 活動状況

区分 市町別	事故種別出動 ・ 活動件数 ()内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風自然災害等	よ機械等事故に	よ建物等事故に	酸ガス事及び	爆発事故	その他の事故	計	火災	交通事故	水難事故	風自然災害等	よ機械等事故に	よ建物等事故に	酸ガス事及び	爆発事故	その他の事故	計
白石市		(5) 11				(2) 5	1		2	(7) 19		5				2				7
角田市		(5) 9			(1) 1	(2) 3			1	(8) 14		5			1	2				8
蔵王町		(2) 6	1		1				(1) 2	(3) 10		3							1	4
七ヶ宿町		(1) 1	1						(2) 3	(3) 5		1							2	3
大河原町		(4) 5				(1) 3			(5) 5	(10) 13		5				1			5	11
村田町		(4) 5								(4) 5		5								5
柴田町		(2) 3	1			3			(1) 2	(3) 9		3							1	4
川崎町		(1) 4	1						(2) 5	(3) 10			1						2	3
丸森町		(2) 3	1						(1) 1	(3) 5		2							1	3
管外		(1) 1								(1) 1		1								1
合計		(26) 48	(1) 5		(1) 2	(5) 14	1		(12) 21	(45) 91		30	1		1	5			12	49
前年		(25) 46	(6) 7		(2) 4	(11) 22	1		(6) 14	(50) 94		28	7		2	11			6	54

3. 救出所要時間状況

時間 事故種別	救 出 に 要 し た 時 間 別 件 数						
	10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上	計
火 災							
交通事故	18	5	2	1			26
水難事故				1			1
自然災害							
機械事故				1			1
建物事故	3	1	1				5
ガス酸欠							
爆発事故							
そ の 他	6	1	1	2		2	12
合計	27	7	4	5		2	45

4. 救助活動に使用した器具機材

使用器具機材	車載クレーン	車載ウインチ	可搬ウインチ	ワイヤー	大型油圧機	バックボード	舟形担架・平担架	ガラス切断機	空気切断機	空気拡張機	保護材・あて木	万 能 斧	鉄線カッター	レスキューナイフ	救命ふかト	救命ボート	救助用胴衣	投光器	救助ロープ各種	カラビナ・滑車	縛 帯 等	各種梯子	空 気 呼 吸 器	そ の 他
使用回数			1	1	4	11		3	1		1		2		1	1	1	1	1			3		2

通 信 統 計 の 概 要

1. 総受信状況

令和3年の受付総数は、11,175件で前年（10,530件）に比べて645件増加となり、内訳は119番通報による受付が10,018件（89.6%）と最も多くなっている。次いで、加入電話による受付が447件（4.0%）と続いており、一日あたりの受付件数については30.6件となっている。

2. 119番受付状況（災害種別）

119番受付件数は、10,018件で前年（9,345件）に比べて673件増加となり、災害種別ごとにみると、救急が7,265件（72.5%）と最も多くなり、次いで火災が195件（1.9%）、その他の災害が180件（1.8%）の順となっている。

3. 119番通報の固定電話と携帯電話別受付状況

119番受付件数の電話種別ごとにみると、固定電話のうち、NTT加入電話による通報が2,910件で前年（2,916件）に比べて6件減少となり、IP電話による通報が2,881件で前年（2,754件）に比べて127件増加となっている。

携帯電話による通報は、4,227件で前年（3,675件）に比べて552件増加となっている。

※ IP電話とは、インターネット技術を利用した回線の電話である。

4. 119番以外による災害受付状況

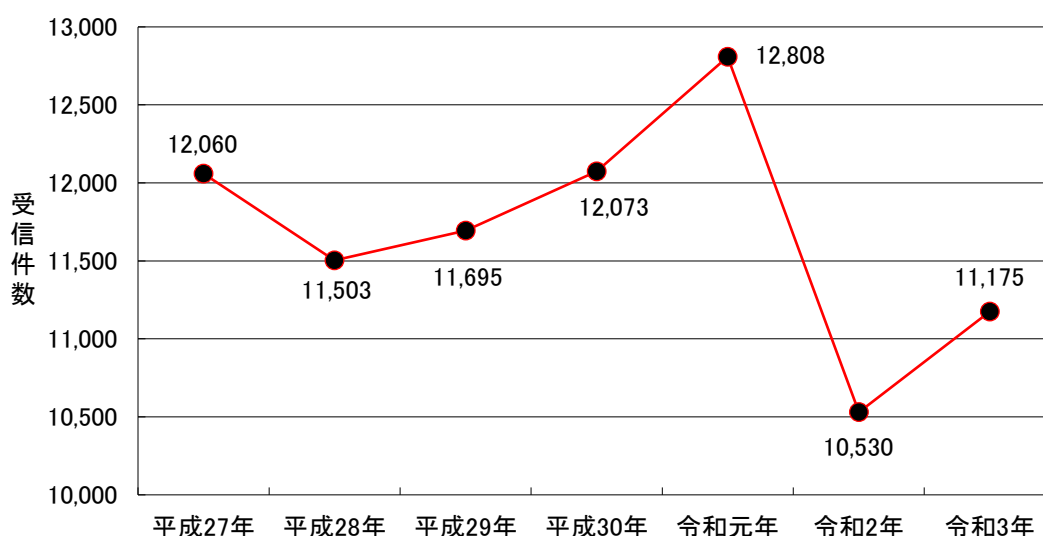
119番通報以外による災害受付件数は、991件で前年（1,040件）に比べて49件減少となっている。入電種別ごとにみると、最寄りの消防署へ直接電話をする加入電話が420件と全体の42%となり、次いで直接消防署へ駆け付けての通報が44件（4%）、NEXCOからの通報が19件（1.9%）の順となっている。

5. 消防テレホンサービス利用状況

消防テレホンサービスの利用状況については、177,052回で前年（173,666件）より3,386回増加となっており、その内のIP・携帯電話利用数が168,303回で95.1%を占めている。

1. 総受信状況

区分 \ 年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	構成比 (%)
119番通報	10,608	10,139	10,132	10,364	10,904	9,345	10,018	89.6%
加入電話	501	518	524	446	500	408	447	4.0%
警察電話	15	17	22	16	16	8	2	0.0%
NEXCO専用線	29	27	27	17	19	7	20	0.2%
自己覚知	86	76	56	52	53	27	17	0.2%
駆け付け	45	46	48	53	48	58	44	0.4%
その他	776	680	886	1,125	1,268	677	627	5.6%
合計	12,060	11,503	11,695	12,073	12,808	10,530	11,175	
1日平均	33.0	31.4	32.0	33.1	35.1	28.8	30.6	



2. 119番受付状況(災害種別)

区分 \ 年		令和元年		令和2年		令和3年		前年比 (件)
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
災害	火災	144	1.3%	148	1.6%	195	1.9%	47
	救急	7,796	71.5%	6,893	73.8%	7,265	72.5%	372
	その他の災害	193	1.8%	169	1.8%	180	1.8%	11
災害以外	問い合わせ	262	2.4%	225	2.4%	256	2.6%	31
	間違い	354	3.2%	340	3.6%	409	4.1%	69
	いたずら	59	0.5%	47	0.5%	101	1.0%	54
	通報訓練	976	9.0%	879	9.4%	964	9.6%	85
	回線試験	201	1.8%	98	1.0%	162	1.6%	64
	その他	919	8.4%	546	5.8%	486	4.9%	-60
合計		10,904		9,345		10,018		673

3. 119番年間受付状況(固定電話と携帯電話別)

		令和元年		令和2年		令和3年	
		件数	比率	件数	比率	件数	比率
固定	NTT	3,670	33.7%	2,916	31.2%	2,910	29.0%
	IP	4,275	39.2%	2,754	29.5%	2,881	28.8%
携 帯		2,959	27.1%	3,675	39.3%	4,227	42.2%
合 計		10,904		9,345		10,018	

※IP電話：
インターネットプロト
コル技術を利用して
提供される音声通話
サービス(NTTひかり
電話を含む)。

令和元年	固定 (NTT), 33.7%	固定 (IP), 39.2%	携帯電話, 27.1%
令和2年	固定 (NTT), 31.2%	固定 (IP), 29.5%	携帯電話, 39.3%
令和3年	固定 (NTT), 29.0%	固定 (IP), 28.8%	携帯電話, 42.2%

4. 119番以外による災害受付状況

	火災		救急		その他の災害		計	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
加入電話	9	8	287	275	103	137	399	420
警察電話			7	1	1	1	8	2
NEXCO 専用線		3	6	12	1	4	7	19
駆け付け		1	54	38	2	5	56	44
自己覚知			22	15	4	1	26	16
その他	8	9	98	106	438	375	544	490
計	17	21	474	447	549	523	1,040	991

5. 消防テレホンサービス利用状況

	令和元年	令和2年	令和3年	
固定電話	14,575	9,497	8,749	4.9%
IP・携帯電話	209,156	164,169	168,303	95.1%
計	223,731	173,666	177,052	

仙南消防本部消防テレホンサービス
TEL0180-992-123